

平成31年度（2019年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	国語	科目（単位数）	国語総合（5）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	～国語の基本的な能力の育成～ （1）言葉についての関心を高め、漢字力・語彙力をつける。（2）文章を正確に読解する力をつける。 （3）感じたこと、考えたことを表現する力をつける。 （4）話すこと・聞くことを中心としたコミュニケーション能力を高める。						
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	①評論「技術が道徳を代行するとき」（池内了） ②説話『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」 ③評論「水の東西」（山崎正和） ④漢文入門		①③文章の構成や展開に注意し、筆者の主張を捉えることができる。②文章の登場人物や心情を表現に即して読み味わうことができる。④訓読のきまりを理解することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	①小説「羅生門」（芥川龍之介） ②随筆『徒然草』「丹波に出雲といふ所あり」（兼好法師） ③故事成語「助長」他2編 ④物語『伊勢物語』「筒井筒」		①文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わい、小説の主題を考えることができる。②④古文の読解を通じて、筆者のものの見方・考え方・感じ方を理解することができる。③故事成語の成り立ちと寓話の効果について理解することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	①詩歌・俳句（「小景異情」など） ②日記『土佐日記』「馬のはなむけ」 ③寓話「朝三暮四」他2編 ④評論「〈顔〉という現象」（鷲田清一） ⑤唐代の詩文「春暁」他3編 ⑥評論「時間と自由の関係について」（内山節）		①表現の特徴を考察しながら、韻文文学を読み味わうことができる。②土佐日記執筆の背景や後世への影響について理解することができる。④⑥対比構造を捉えながら、筆者の主張や主要な論点を理解することができる。③⑤語句の意味や句法に留意して、故事成語の成り立ちや、漢詩のきまりについて理解することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	①随筆『枕草子』「虫は」「ありがたきもの」 ②随想「少女たちの『ひろしま』」（梯久美子） ③文「雑説」 ④小説「富岳百景」（太宰治）		①作品世界を客観的に捉えた上で、自分の言葉で批評をすることができる。②戦争をテーマにした作品を読み、平和の大切さについて考えることができる。③本文の寓意について理解することができる。④作品の世界観を読み味わいながら人物の心情の変化を理解することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 3学期 学年末考査	①和歌（「万葉集」他） ②評論「ことばは『ものの名前』ではない」（内田 樹） ③軍記物語『平家物語』「木曾の最後」 ④評論「生物の多様性とは何か」（福岡伸一） ⑤史話『十八史略』「管鮑之交」		①表現の特徴を考察しながら、表現される心情や情景、時代や作者によって異なる歌風を味わうことができる。②④具体例の分析を通じて抽象的見解を理解することができる。③音読を通じて「軍記物語」の特徴を読み味わうことができる。⑤本文の寓意について理解することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	①俳諧紀行文『奥の細道』「序―漂泊の思ひ―」、「平泉」 ②評論「〈私〉時代のデモクラシー」（宇野重規） ③思想『論語』 ④言語活動「情報を読み取る」「実用文について考える」		①句や文に表れた芭蕉の哲学や心情を読み味わうことができる。②現代社会をテーマにした文章を読み、社会との自分との関係について考えを深めることができる。③代表的章句を読み味わい、儒家思想や諸子百家について基本的な知識を身につけることができる。④実用文から必要な情報を取捨選択し、まとめることができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	◎教科書「国語総合 現代文編」「国語総合 古典編」（東京書籍） ○副教材「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）、「頻出漢字マスター3000」（尚文出版）、「イラストとネットワークで覚える現代文単語」（いっずな書店）、「読解を大切にする要点プラス 体系古典文法」（数研出版）、「三訂版 わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330」（いっずな書店）、「体系漢文改訂版」（数研出版）						
学習方法	予習して授業に備え、授業に積極的に臨み、ノート等は丁寧にまとめ復習や発展学習につなげる。 ※現代文の予習…・黙読する。・音読する。・意味調べ。 ※古典の予習…・音読する。・本文書写。・意味調べ。・現代語訳、書き下し文等。						
評価方法	提出物や観察（発言・発表）による評価を2割、考査による評価を8割で、総合的に100点法の評価とともに5段階で評価を行う。						